

CHAOS

Analog Random Sampler Module for Eurorack

JP JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ拭いてください。
7. 換気口をふさがしないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 製造元が指定したアクセサリー/アタッチメント/アクセサリーのみを使用してください。



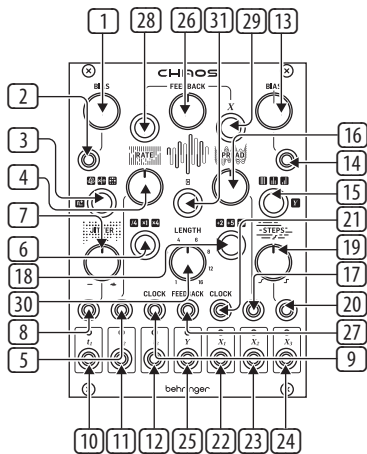
10. 製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み

合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



11. この製品の正しい廃棄: この記号は、WEEE 指令 (2012/19/EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。
12. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。
13. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

CHAOS コントロール



トリガー部

- BIAS (バイアス)** – トリガー出力のバランスを、反時計回り方向に動かすと t1 (出力 10)、時計回り方向に動かすと t3 (出力 12) へ傾けます; t2 (出力 11) は一定に保ちます。
- BIAS CV バイアス CV** – 外部コントロールボルトageのバイアス設定を、-5V ~ +5V の範囲で調節する際に使用する入力です。

- BIAS TYPE バイアスタイプ** – トリガーバイアスを 3種類のいずれかに設定します。ボタン周囲のカラーで、使用しているタイプを識別します:
 - フリップ (オレンジ色) – トリガーパルスごとに、コインが反転し、コントロール1および CV 入力 2 の設定により、ヘッド (t1) またはテール (t3) のいずれに落ちる可能性が高いかを決定します。
 - レシオ (赤色) – コントロール1および CV 入力2 の設定で、トリガーの比率 (レシオ) を決定します。反時計回りでは t1、時計回り方向では t3 に対して、生成されるトリガーの比率が決まります。バイアスが低いほど、比率が高くなります。
 - オルタネート (緑色) – トリガーは t1 と t3 の間で変化し、コントロール1 および CV 入力2 の位置に従い、リピート回数が増えます。
- RATE (レート)** – CHAOS の内部クロックレートを、0.063 Hz ~ 63 Hz (3.78 bpm ~ 3780 bpm) の範囲で決定するコントロールです。外部クロックを使用する場合は、このコントロールで除算および乗算の値を調節します。
- RATE CV レート CV** – 外部コントロールボルトageのレート設定を -5V ~ +5V の範囲で調節するための入力端子です。
- RATE RANGE レート範囲** – このボタンを使用し、内部クロックレートの設定を ¼ (オレンジ色)、4倍 (緑色) または変化なし (赤色) の間で調節します。ボタン周囲のカラーで選択した設定を識別します。
- JITTER (ジッター)** – クロックレート (内部または外部) にランダム要素を付加するコントロールです。コントロールを反時計回り方向に回すと、ステップはビートに対し遅れ気味になり、時計回り方向に回すと、ビートに対し前のめりになります。
- JITTER CV ジッター CV** – 外部 CV ソースから入力されるジッターを -5V ~ +5V の範囲で制御する際に使用する入力端子です。
- CLOCK (クロック)** – 内部クロックを外部クロックに差し替える際に使用する入力です。

CHAOS コントロール

- 10 12-TRIGGER OUTPUTS トリガー出力 - トリガー t1、t2 および t3 にアクセスする出力です。 ボタン 3 (バイアスタイプ) を長押しし、BIAS コントロール (1) を使用して、トリガーデューティーを 1% ~ 99% の間で調節します (12 時の位置で 50%)。ボタン 3 を長押しして JITTER コントロール (7) を操作すると、トリガーデューティーをランダム化し、高く設定するとランダム効果が強くなります。内部クロックを使用している場合、3 つのトリガー出力は、3 つのボルテージ出力をトリガーします。

ボルテージ部

- 13 BIAS (バイアス) - 出力 22 ~ 24 のボルテージ出力のバイアスを、低ボルテージ (反時計回り方向) ~ 高ボルテージ (時計回り方向) で調節するコントロールです。
- 14 BIAS CV バイアス CV - 外部コントロールボルテージのバイアス設定を -5V ~ +5V の範囲で調節する際に使用する入力端子です。
- 15 CONTROL REACTION コントロールリアクション - コントロール 13、16 および 19 (付随する CV も含む) の設定に対する、22 ~ 24 の 3 つのボルテージ出力の反応を、3 種類のいずれかより設定します。使用中の設定は、ボタン周囲のカラーによって識別できます。
- ・ コントロール類に従う (オレンジ色) - 設定はすべてコントロールに従います。
 - ・ 同様および反対 (赤色) - X2 出力 (23) がコントロールに忠実に従う一方で、X1 (出力 22) および X3 (出力 24) は正反対に動作します。
 - ・ スライディングスケール (緑色) - X1 出力 (22) はコントロールに忠実に従い、X3 (出力 24) は正反対に、X2 (出力 23) は他の 2 つの出力の中間となります。
- 16 SPREAD (スプレッド) - コントロールボルテージの配分を設定するコントロールです。コントロールを反時計回り方向に回すと、ボルテージをレンジの中央付近に、12 時の位置では中央寄りのフルレンジにします。さらに時計回り方向に回すと、中心から最も低いレンジを使用します。
- 17 SPREAD CV スプレッド CV - 外部コントロールボルテージのスプレッド設定を -5V ~ +5V の範囲で調節する際に使用する入力です。スプレッド CV は、ボタン 31 を押して CV 入力をサンプルし、X 出力にランダム値を適用する用途にも使用できます。

- 18 RANGE (レンジ) - CHAOS のボルテージ範囲を設定するボタンです。0V ~ +2V (オレンジ色)、0V ~ +5V (赤色) または -5V ~ +5V (緑色) のいずれかを選択します。選択したレンジはボタン周囲のカラーで識別できます。このボタンはプリセットスケールの選択にも使用します (後述の“スケール”を参照)。
- 19 STEPS (ステップ) - CHAOS のボルテージ間のステップの仕方を選択するコントロールです。12 時の位置では、使用クロックに対し瞬時にステップが生じます。コントロールを反時計回り側に回すと、ボルタメントのようなスムーズな移行となり、さらに設定を極端にすると、ランダムかつスムーズなボルテージとなります。時計回り方向に回すと、ボルテージを選択したスケール (後述の“スケール”を参照) に従ってクオンタイズし、設定を最高にすると、単音のルート音となります。
- 20 STEPS CV ステップ CV - 外部コントロールボルテージのステップ設定を -5V ~ +5V の範囲で調節する際に調節する入力です。
- 21 CLOCK (クロック) - この入力を使用して、t1、t2、t3 からではなく、外部クロックから電圧 X1、X2、および X3 をクロックします。
- 22 24 - VOLTAGE OUTPUTS (ボルテージ出力) - ボルテージ X1、X2 および X3 にアクセスする出力端子です。

Y 部

- 25 Y OUTPUT 出力 - Y 出力は、X2 に関係しながらも、X 出力とは独立したボルテージ出力です。-5V ~ +5V の範囲で動作し、コントロールリアクションボタン (15) を長押しして次のコントロール類を変化させることで、Y 独自のパラメーターを調節します。
- ・ レート (4) - X2 の除算を調節することで、Y を $\frac{1}{64}$ ~ 1 の範囲で算出します。
 - ・ バイアス (13) - X ボルテージの場合と同様に機能します。
 - ・ スプレッド (16) - X ボルテージの場合と同様に機能します。
 - ・ ステップ (19) - X ボルテージの場合と同様に機能します。

CHAOS コントロール

フィードバック部

- [26] **FEEDBACK (フィードバック)** – ボルテージおよびトリガーサンプリングの確率水準を、完全にランダム (反時計回り方向および時計回り方向いっぱい) と完全固定 (12時の位置) の間で設定します。
- [27] **FEEDBACK CV フィードバック CV** – 外部コントロールボルテージのフィードバック設定を-5V ~ +5Vの範囲で調節する際に使用する入力です。
- [28] **t FEEDBACK フィードバック** – コントロール 26 および 30 と、CV 27 のフィードバック設定をトリガージェネレーターに適用する際に使用するボタンです。
- [29] **X FEEDBACK フィードバック** – コントロール 26 および 30 と、CV 27 のフィードバック設定をボルテージジェネレーターに適用する際に使用するボタンです。
- [30] **LENGTH (長さ)** – ループ長を 1 ~ 16 ステップの間で設定するコントロールです。

サンプリング部

- [31] **SAMPLE サンプル** – ボルテージジェネレーターに使用する、スプレッド CV 入力 (17) のサンプルか、カスタムスケールの入力 (下記参照) のいずれかをおこなうボタンです。

スケール

CHAOS にはボルテージジェネレーターで使用する 6 種類のプリセットスケールが搭載されています。それぞれルート音は C なので、別のキーを使用する場合は、ルート音出力を取得するため、外部 CV を適用せずに、STEPS コントロール (19) の位置を時計回り方向いっぱいにしてください。そうすることで、オーディオソースを任意のキーにリチューンできます。

6 種類のスケールには、RANGE ボタン (18) を 2 秒間長押ししてアクセスし、同ボタンを任意の回数押してスケールを切り替えます。ボタン周囲のカラーおよび点滅速度で、選択したスケールを識別します:

- メジャー (オレンジ色、ゆっくり点滅): C, D, E, F, G, A, B, C
- マイナー (赤色、ゆっくり点滅): C, D, Eb, F, G, Ab, Bb, C

- ペンタトニック (緑色、ゆっくり点滅): C, D, E, G, A, C
- ペロック ガムラン (オレンジ色、速く点滅): C, Db, Eb, G, Ab, C
- ラーク パハール (赤色、速く点滅): C, D, Eb, F, G, A, Bb, B, C
- ラーク シュリ (緑色、速く点滅): C, Db, E, G, Ab, B, C

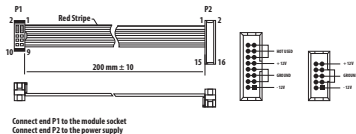
ボタンを 2 秒以上押さないと、スケール選択が終了します。スケールは保存されず、カオスが次にパワーアップしたときにメジャーに戻ることに注意してください。

CHAOS にカスタムスケールをプログラムいただくことも可能です。Behringer Swing 等の、対応するキーボードからスプレッド CV 入力 (17) へ CV を、また同ソースよりゲートを X Clock 入力 (21) へ適用します。準備ができたならサンプルボタンを 2 秒間長押しします。サンプリングの準備ができるとボタンの周囲が点滅します。使用するスケールをプレイします。50 以上のノートを、また使用頻度の高いノートをより多くプレイしていただくことが推奨です。たとえば、C3 を C4 の 2 倍多く使用する場合、C3 を 16 回、C4 を 8 回プレイするといった具合です。これはつまり、C3 は C4 の倍、プレイされる可能性が高いということです。サンプルボタンをもう一度押して録音を終了します。CHAOS の電源を落とすと、カスタムスケールは保存されませんのでご注意ください。

使いこなしのヒント

- ループのスローバリエーションをおこなう際には、FEEDBACK コントロール (26) は 12 時近辺に設定します。
- Y 出力は CV 入力の変調ソースとして使用できます。
- 内部クロッキングを使用する場合、3 つのボルテージ出力はリズム的に独立しているので、ポリリズムを作成できます。
- フィードバックループは、ボタン 28 と 29 を続けて素早く押すことで、操作中いつでもリセット可能です。

電源接続



モジュールには、標準の Eurorack 電源システムに接続するために必要な電源ケーブルが付属しています。以下の手順に従って、モジュールを Eurorack ケースに接続します。

1. モジュールには、標準の Eurorack 電源システムに接続するために必要な電源ケーブルが付属しています。以下の手順に従って、モジュールを Eurorack ケースに接続します。
2. 電源またはラックケースの電源を切り、電源ケーブルを外します。電源ケーブルの 16 ピンコネクタを電源装置またはラックケースのソケットに差し込みます。コネクタには、ソケットのギャップに合わせて配置されるタブがあるため、正しく挿入することはできません。電源装置にキー付きソケットがない場合は、ケーブルの赤いストライプをピン 1 (-12 V) に向けて指定してください。
3. モジュール背面のソケットに 10 ピンコネクタを挿入します。コネクタには、正しい方向を取り付けるソケットに合わせて配置するタブがあります。
4. 電源ケーブルの両端がしっかりと接続されたら、モジュールをケースに取り付けて電源を入れます。

取り付け

必要なネジは、ユーロラックケースに取り付けるためのモジュールに付属しています。取り付けの前に電源ケーブルを接続します。

ラックケースによっては、ケースの長さに沿って 2 HP 間隔をあけた一連の固定穴や、個々のねじ板がケースの長さに沿ってスライドできるトラックが存在する場合があります。自由に動くねじ板はモジュールの正確な位置を可能にするが、各版はねじを取り付ける前にモジュールの取り付け穴に近い関係で置かれるべきである。

取り付け穴のそれぞれがねじ付きレールまたはねじ板に合うように、ユーロラックレールに対してモジュールを保持します。ねじを途中で取り付けて開始し、位置を微調整しながら、すべての位置合わせを行います。最終的な位置が決まってきた後、ネジを締め付けて下ろします。

技術仕様

トリガー部	
コントロール	バイアス、レート、ジッター
ボタン	バイアスタイプ、レート範囲
入力	バイアス、レート、ジッター CV クロック
出力	t1、t2、t3 トリガー
ボルテージ部	
コントロール	バイアス、スプレッド、ステップ
ボタン	コントロールリアクション、レンジ
入力	バイアス、スプレッド、ステップ CV クロック
出力	X1、X2、X3 ボルテージ
Y 部	
出力	Y ボルテージ
フィードバック部	
コントロール	フィードバック、レンジ
ボタン	t セレクト、X セレクト
入力	フィードバック CV
サンプル部	
ボタン	サンプル

入力

CV 入力	3.5 mm TS ジャック 範囲 -5V ~ +5V 100 kΩ インピーダンス
Clock 入力	3.5 mm TS ジャック 最大 +8V 100 kΩ インピーダンス t クロック最大 1 kHz X クロック最大 8 kHz

出力

CV 出力	3.5 mm TS ジャック 範囲 -5V ~ +5V
トリガー出力	3.5 mm TS ジャック 0V ~ +8V (V-トリガー)
消費電力	+12V 100mA / -12V 60mA

物理仕様

標準動作温度	5°C ~ 40°C (41°F ~ 104°F)
サイズ	91.12 x 128.5 x 41.2 mm (3.59 x 5.1 x 1.62 インチ)
Eurorack	18 hp
重量	0.17 Kg (0.38 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディス

トリビューターにコンタクトすることができません。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You